

# 低濃度PCB廃棄物専用「名古屋トランシップセンター」竣工

平成 27 年 5 月 15 日、当社PCB事業において、低濃度PCB廃棄物に特化した積替え保管施設「名古屋トランシップセンター」が完成しました。当施設において、中部圏を中心としたエリアの低濃度PCB廃棄物を回収し一時的に保管し、更に抜油を行い絶縁油ときょうたい 筐体（抜油後の機器）に分けた上で処分施設へ運搬します。



## 名古屋トランシップセンター概要

所在地： 愛知県弥富市楠三丁目 24-2  
敷地面積： 3958.73 m<sup>2</sup>  
建物面積： 839.84 m<sup>2</sup>  
保管能力： 100.22 m<sup>2</sup> (131.5 m<sup>3</sup>, 79.2t: 変圧器約 260 台分)  
絶縁油 19.6 kL (指定数量 9.8 倍)  
稼働日： 平成 27 年 6 月 1 日(予定)



多くの PCB 廃棄物保管事業者の保管量は機器数台程度です。一方で低濃度 PCB 廃棄物は処分施設が限られており運搬距離も長くなることから、それらを効率的に運ぶことが課題となっています。そこで弊社では

- ①少量保管のお客様を回り積替え保管施設に蓄積して運搬 ⇒運搬効率UP！
- ②抜油により筐体と絶縁油に分けて運搬 ⇒運搬・処分効率UP！

によって保管事業者のご負担軽減と PCB 廃棄物処分促進に貢献して参ります。

